



2026年1月30日

各 位

会社名 平和不動産株式会社
代表者 代表執行役社長 土本清幸
(コード 8803 東証プライム・名証プレミア・福岡・札幌)
問合せ先 執行役常務 経営企画部長 青山 誉久
(TEL 03-3666-0182)

中期経営計画における計数計画の上方修正に関するお知らせ

当社は、2024年4月30日に2024年度から2026年度を計画期間とする中期経営計画「WAY 2040 Stage1」(2024年度～2026年度)を公表し、その計画の達成に向けて取組みを推進してまいりましたが、現在までの計画の進捗を踏まえ、最終年度の計数計画を下記のとおり上方修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 計数計画等の上方修正について

＜中期経営計画最終年度(2027年3月期)計数計画＞

	中期経営計画策定時 (2024年4月30日)	見通し変更 (2025年1月31日)	今回修正 (2026年1月30日)
EPS (1株当たり当期純利益)	135円以上	150円以上	160円以上
連結営業利益 (内訳) ビルディング事業 アセットマネジメント事業 全社・消去	140億円以上 138億円 24億円 △22億円	同左	150億円以上 148億円 27億円 △25億円
ROE	7%以上	8%以上	同左
(参考) 1株当たり年間配当金	—	90円以上 (普通配当 75円以上) (特別配当 15円)	95円以上 (普通配当 80円以上) (特別配当 15円)

※当社は、2025年7月1日を効力発生日として、1株につき2株の割合で株式分割を実施したため、当該株式分割を考慮した数値を記載しております。

2. 修正の理由

当社は2024年4月に中期経営計画「WAY 2040 Stage1」(2024年度～2026年度)を策定し、重点戦略である再開発事業の拡大、利益成長と資本効率向上の両立、社会価値の向上及び経営基盤の強化を推

進してまいりました。さらには、2025年1月31日付で「資本コストや株価を意識した経営の更なる推進に向けた取り組みについて」を公表し、政策保有株式の縮減加速に取り組むことにより、計数計画をアップデートするとともに2026年度(2027年3月期)における1株当たり年間配当金の見通しを公表いたしました。このような取り組みを進めるなか、ビルディング事業におけるオフィス・ホテル事業収益及びアセットマネジメント事業におけるアセットマネジメント収益等が増加する見込みとなったことなどにより、本日付で2025年度(2026年3月期)の通期の連結業績予想を上方修正することを公表いたしました。(詳細は本日公表した「通期業績予想の修正及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」を参照。)このような好調な連結業績が2026年度(2027年3月期)においても継続する見通しとなったことから、中期経営計画最終年度(2027年3月期)の計数計画を上方修正いたします。

※本資料に記載されている予想数値等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、業況の変化等により、大きく異なる可能性があります。

以上